

地域カルテ（人口データ）留意事項

H30年8月更新

1. 推計に使用するデータ

○2011年、2016年9月末の住民基本台帳人口を中学校区単位に加工

2. 推計方法

○2016年と5年前の2011年の男女5歳刻み人口を用い、コーホート変化率を求め、その変化率が将来も継続すると仮定し、人口を推計するコーホート変化率法を用いている

○出生率については、20～39歳女性人口に対する0～4歳人口比を用い、その比率が将来も継続すると仮定し、推計

3. コーホート変化率について

○コーホートとは、同期間に出生した集団のこと（このカルテにおいては男女別の5歳刻みの年代）

○2011年に15～19歳だった人は、2016年には20～24歳になっている。15～19歳が20～24歳に移行する際の増減率（コーホート変化率）が将来に渡り継続すると仮定し、男女別で計算し、推計している

	15～19歳	20～24歳
2011	100人	
2016	80人	90人
2021	75人	72人
2026		68人

2011年から2016年のコーホート変化率
 $90/100=0.9$ （10%減少）

2011年から2016年のコーホート変化率を適用し、2021年の20～24歳人口を算出
 $80 \times 0.9 = 72$

【留意点】

- 実際の人口推移と人口推計は、人口規模が小さくなるほどかい離が大きくなる
- 2011年から2016年に人口が大幅に増えた中学校区では、将来もその増加率がそのまま適用され、実際にはこの傾向が継続しないことが想定されるため、実際の人口推移とのかい離が特に大きくなる。（例：大規模な住宅開発など）
- 外国人登録法廃止・住民基本台帳法改正の施行により2012年7月以降の住民基本台帳人口には外国人が含まれている
- 複数区にまたがっている中学校区は原則、人口が多い区に分類する
- 校区情報が設定されていない住基データ（校区不明者）があり、中学校区の合計と区の合計が一致しない
- 推計した男女年齢階層別の人口は小数点を四捨五入していることから、総数と一致しない場合がある